

# 市民協働かわら版

No.10（平成27年3月31日発行）

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒590-0592 泉南市樽井 1-1-1

Tel.072-483-0004

今月の3月10日（火）に市民の皆さんを対象とした「タコ壺プロジェクト」の実現に向けた検討会にまちづくりサロンの皆さんが参加しました。「タコ壺プロジェクト」とは、日本一のタコ壺



づくりの村（戒煙遺跡）があった泉南市でタコ壺をつくり、手作りタコ壺でタコ壺漁を行い、とれたタコを食べ、使用後のタコ壺はイルミネーションに使う、といったアイデアを実施することで、タコで泉南市を「アゲル」プロジェクトです。検討会では、「タコ壺づくり」、「タコを食べる」、「イルミネーション」の3つのグループにわかれ、阪南大学の和泉先生や埋蔵文化財センター職員のアドバイスを受けながら、プロジェクトの実現に向けての話し合いが行われ、模造紙にそれぞれの

班のテーマに基づく企画をまとめ、各班ごとにその内容の発表を行いました。

また、3月25日（水）には、第10回「泉南・市民まちづくりサロン」が開催されました。市民8名（男7名、女1名）及び職員2名（事務局〔政策推進課〕2名）の総勢10名の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

今回は、「地域で開催するサロンで話し合うテーマ」、「地元住民と転入者との交流」、「泉南市のまちづくり」などについて意見交換が行われました。

## 【サロンでの主な意見】

- ＊地域で開催するサロンでは各地域の問題点を話し合ってはどうか。
- ＊地元住民と転入者が交流するには泉南市の歴史を勉強するのも面白いかもしれない。
- ＊地元で歴史に詳しい人に講師になってもらってはどうか。
- ＊まちづくりについて話し合い、検討するには、他市の成功事例を参考にすることが必要である。
- ＊生活に密着したまちづくりが重要である。
- ＊「広報せんなん」に1ヶ月の行事やイベントがわかるページを作成してほしい。

## 【意見に対するサロンで話し合った内容】

- ＊地域で開催するサロンの運営方法
- ＊泉南市の歴史を活用した住民同士の交流促進
- ＊まちづくりを進める上での情報収集の重要性
- ＊「広報せんなん」の記事の充実



※以上が、今回のサロンでの主な意見と意見に対するサロンで話し合った内容です。

※次回は4月22日（水）午後1時30分から泉南市立樽井老人集会場2階会議室で開催する予定です。また、次回のサロンには阪南大学の学生も参加する予定ですので、多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。